



熊川地区の伝統芸能「熊川稚児鹿舞」
2014年7月20日撮影



福島県 Fukushima
東日本大震災・
原子力災害
伝承館
The Great East Japan
Earthquake and Nuclear Disaster
Memorial Museum

丘一面の桜畑に咲く大さき山菜の花
2008年4月27日撮影

大熊町特集展

東日本大震災・原子力災害 大熊町の歩みとゆくえ



全クサスファームおおくまの赤く大きく実ったイチゴ(2022年1月20日撮影)



大川原のヒマワリ畑(2018年8月17日撮影)

未曾有の複合災害で大熊町に何が起こり、町はどう向き合ってきたのか。「産業」・「地域性」・「エネルギー」の3テーマで、東京電力福島第一原子力発電所の立地町である福島県大熊町の過去と現在・未来を対比しながら、町の歩みとゆくえをご覧ください。

2022年
3月4日(金)～5月9日(月)
9:00～17:00 (最終入館16:30)

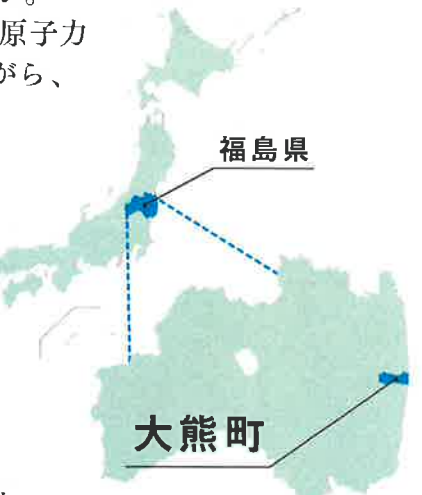
休館日:火曜日 (火曜祝日の場合は翌平日)

会場

東日本大震災・原子力災害伝承館
企画展示室 (福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39)



おおちゃん くわちゃん
(大熊町マスコット
キャラクター)



福島県

大熊町

入館料

一般 600円
小中高 300円

通常の入館料にて
ご覧いただけます

主催/東日本大震災・原子力災害伝承館 共催/大熊町

お問合せ先

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館

電話0240-23-4402
FAX0240-23-4403

電子メール archive@fipo.or.jp
HP <https://www.fipo.or.jp/lore/>



大熊町特集展 東日本大震災・原子力災害 大熊町の歩みとゆくえ

2011年3月の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故により福島県浜通り地方は大きな被害を受けました。2022年3月には震災から11年が経過しますが、現在も復興の途上にあります。時間の経過に伴い、震災の記憶の風化が懸念される中、東日本大震災・原子力災害伝承館では、震災の記憶と教訓の伝承に取り組んでいます。

大熊町は地震・津波に加え、町内に立地している福島第一原子力発電所で事故が発生し、原子力災害に見舞われた自治体です。今回の展示では、大熊町の地域的特性について、歴史的背景や福島第一原子力発電所との関係性を踏まえながら顧みていきます。また、東日本大震災から8年後の2019年4月以降、避難指示が解除された一部区域では新たなまちづくりが始まっており、こうした町の新たな取組についても紹介します。



津波で傷ついたおおちゃんくうちゃん看板



上: 贈答梨価格表
右: 梨のレプリカ



あの「じい部隊」が 特集展で活動！

日時: 3月中の土日祝 / 10:00~15:00
会場: 企画展示室

町職員と共に「じい部隊」のメンバーが大熊町の昔と今を説明します。

※じい部隊
全町避難中の大熊町を最前線で見守り続けた町役場現地連絡事務所駐在員の通称。2019年3月に6年にわたる活動を終えました。

イベント

2022年3月4日(金)

● オープニングセレモニー

時間: 11:00
会場: エントランスホール
2022年4月に開校する大熊町の義務教育学校の校歌と校章を小中学生が披露します。

● 大熊町の小中学生による オープニングイベント

時間: 13:00~13:30
会場: 研修室
ふるさと創造学の学習発表、よさこいの披露などを行います。

● 町の新特産品イチゴの紹介

日時: 3月20日(日) 11:00~14:00
会場: エントランスホール
数量限定でイチゴなどもお買い求めいただけます。

● 熊川稚児鹿舞の披露

日時: 3月26日(土) 14:00~14:15
会場: エントランスホール
熊川稚児鹿舞は熊川地区が凶作や疫病に襲われた時、地区の鎮守である諏訪神社に、「鹿」に扮して舞を奉納したことに由来する郷土芸能です。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントは予告なく変更になる可能性があります。

東日本大震災・原子力災害伝承館マップ



仙台から

仙台空港 常磐自動車道経由一般道 約90分
仙台駅 常磐線特急ひたち 約80分

東京から

東京都内 常磐自動車道経由一般道 約240分
東京駅 常磐線特急ひたち 約190分

常磐双葉IC 一般道約7.5km
双葉駅 一般道約2.7km
常磐双葉IC 一般道約7.5km
双葉駅 一般道約2.7km

伝承館

東日本大震災・原子力災害伝承館 利用案内

開館時間: 9:00~17:00 入館料: 大人600円 小中高300円
休館日: 火曜日・年末年始 (12/29~1/3) 研修室: 最大90名収容
※入館料は1名あたりの金額です。※教育活動での減免制度あり。

お問合せ先

公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館

電話0240-23-4402
FAX0240-23-4403
電子メール archive@fipo.or.jp
HP <https://www.fipo.or.jp/lore/>

